

残食調査アンケートの質問項目と集計方法について

◆献立例

献立	栗ご飯	味噌汁	さんまの塩焼き	煮物	デザート
材料	ご飯 栗	小松菜 豆腐 わかめ	さんま 大根	里芋 人参 ごぼう 鶏肉 絹さや	柿

◆残食の例

・栗ご飯（量が多かったから、ご飯がやわらかすぎたから）
・煮物（人参が苦手なので）

◆質問パターンA

(1) 残したものは何ですか

- ①栗ご飯 ②味噌汁 ③さんまの塩焼き ④煮物 ⑤柿

(2) 残した理由は何ですか

- ①食欲がなかった ②嫌いな食べ物だった ③調理法に問題があった
④量が多かった ⑤盛り付けが悪かった ⑥時間がなかった
⑦最近同じものを食べた ⑧食品アレルギーがある ⑨おかずが冷めていた
⑩その他 { }

(問題点) ・複数の食材を残した場合に、理由を分析することが困難
・理由が不規則に、数多く並んでいると探しにくい (答えにくい)

◆質問パターンB (改善版)

(1) 栗ご飯について

- 残しましたか ①はい ②いいえ
残した理由は何ですか
①量が多かった ②ご飯がかたすぎた ③ご飯がやわらかすぎた
④その他 { }

(2) 味噌汁について

- 残しましたか ①はい ②いいえ
残した理由は何ですか . . .

(3) さんまの塩焼きについて

- 残しましたか ①はい ②いいえ
残した理由は何ですか . . .

◆アンケートの形式（望ましいスタイル）

（献立ごとに聞く）

- 献立1つ1つに、具体的な質問を用意する
- 1つの質問の選択肢が多すぎないこと

（質問の形式や体裁）

- 質問項目が読みやすく、わかりやすく、記入しやすいこと
- 集計がしやすいこと

（提供者側の問題か、喫食者側の問題か、区別されているとわかりやすい）

（回答者の負担が増えない範囲で質問を追加してもよい）

- 追加してほしいメニューはあるか
- 食堂環境などに関する意見・要望
- 残食に対する考え方の質問

（その他）

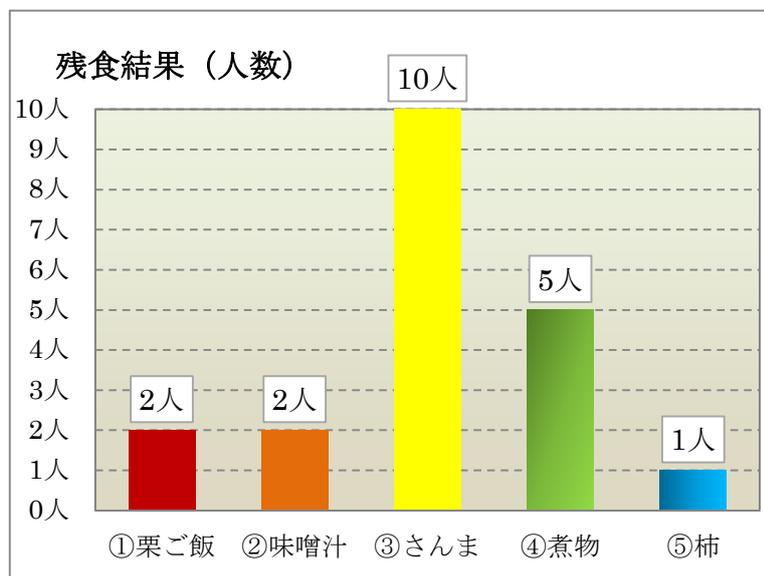
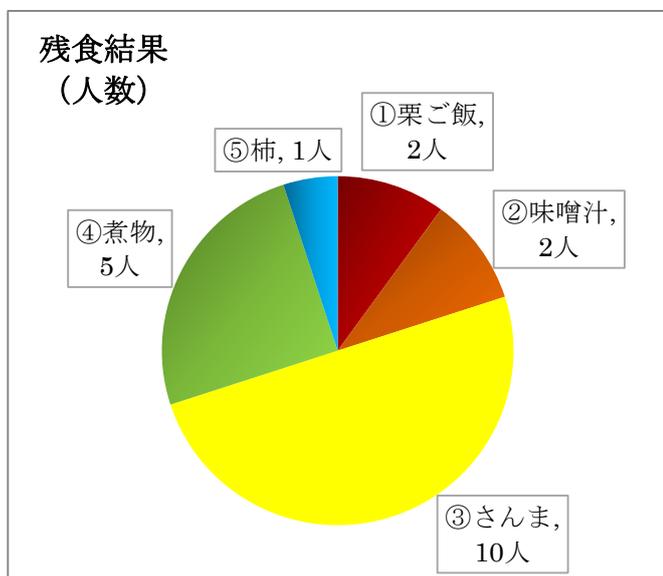
- イラストや写真などを入れて親しみやすい体裁を工夫する
- 説明文、お願い文、お礼などを丁寧な表現で書く

◆集計・分析方法について

(質問1) 残したものは何ですか

(回答例) 回答者10名による複数回答

①栗ご飯	2
②味噌汁	2
③さんまの塩焼き	10
④煮物	5
⑤柿	1
回答数	20



望ましいのは円グラフ／棒グラフのどちらか？

- ①円グラフが望ましい
- ②棒グラフが望ましい
- ③どちらのグラフでも特に問題はない